

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 安住

目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 3 月 29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	定期開催が出来るようになったが、運営推進会議の年間開催日を決めて、参加委員に通達し、早めに予定を入れて参加してもらえる体制に取り組んでいく。	参加委員の増員を図り、行政や地域包括支援センターの職員の参加を要請し、地域、家族、行政と事業所が協力して、ホームの運営や地域の問題を話し合い、解決に向けて取り組んでいく。	12ヶ月
2	5	市町村との連携	行政機関と連携を図り、市の行事や研修会等に管理者が積極的に出席し、情報交換しながらホームの存在感をアピールしていく。	行政と事業所、地域住民が協力し、認知症カフェや徘徊模擬訓練を実施し、介護相談や独居老人の安否確認等と合わせ、地域全体で高齢者が安心して暮らせる街づくりを目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。